



月刊 労働千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.10.28 No. 3483

雪崩をうって崩壊する「JR体制」

3.10.18 西日本新聞

JR九州労組

JR九州の労組分裂。九州旅客鉄道労働組合(略称「九労組」)は、旧動労系(旧国鉄労働組合)と旧鉄労系(旧国鉄労働組合)の分裂をうけて、17日、分団別代表の旧動労系と旧鉄労系を軸とした「分団別代表の労組」を組織した。



旧動労系
旧鉄労系

スト権 発端に 路線対立が激化

「西日本新聞」は、JR九州の労組分裂が、九州旅客鉄道労働組合(略称「九労組」)の分裂をうけて、17日、分団別代表の旧動労系と旧鉄労系を軸とした「分団別代表の労組」を組織したと報じた。この労組分裂は、九州旅客鉄道労働組合(略称「九労組」)の分裂をうけて、17日、分団別代表の旧動労系と旧鉄労系を軸とした「分団別代表の労組」を組織したと報じた。この労組分裂は、九州旅客鉄道労働組合(略称「九労組」)の分裂をうけて、17日、分団別代表の旧動労系と旧鉄労系を軸とした「分団別代表の労組」を組織したと報じた。

JR九州労組年内にも分裂必至!

分割・民営化―「一企業一組合」路線を標榜していた「JR体制」は崩壊過程に突入した。会社側からの革マル排除によって続いた、西日本(JR西労)東海(JR東海労)とともに旧動労系)の分裂は、JR総連がその分裂組織を認め、いくというJR総連革命による引き回しによって、さらなる分裂をまねくというところでもない結果を引き出すことは明らかである。

JR九州労組内では、
① JR東海労(旧動労系の分裂組織)のJR総連加盟問題に関し、「JR東海労の取り扱いについて、一定の方向を出す時には執行委員会が協議し、代表者会議にはかかる」との確約がなされていた。ところがJR総連より、JR東海労の総連加盟について賛否を問われたJ

R九州労組中央執行委員 長石津は、さきの論議経過を無視し独断で、「賛成する」旨をJR総連に伝えるという機関無視を委員長自ら行った。

②「JR西労支援特別対策」について、決定されていた掘出の内容を何ら各級会議に報告しないなどの機関運営を行っていたこと。

以上の問題について、JR九州労組では一〇月四日緊急中央執行委員会が開かれ、組合規約に則った議題提起が行われたが、議長長石津は「保留、受けつけない」と他三名とともに退席するという事態となり、仮議長を選出して臨時大会の召集が決定されるという経過となっている。

JR四国労組にも火種が! 又、JR四国労組においても、JR総連が徴収した「JR西労支援特別対策費」二億五千万円について、会計報告がなされていないなどの不満が続出しており、一挙に飛び火することは明白である。

この動きはもはや止められない。東日本にも波及して行くことは時間の問題だ。

九二・三ダイ改―動乗勤改善は全乗務員を直撃する問題であり、「JR五万人体制」攻撃は、新たな分割・民営化攻撃に他ならない。

動乗勤改善の先兵―JR総連革命マルを打倒し、反合・運転保安闘争に立ち上がろう。

一・五PKO 法安条 成立阻止、臨時国会召集日緊急心闘争!

日時 一月五日 一八時
場所 六本木・三河台公園
指定列車 千葉駅発◎番線 一六時〇四分